

檜葉町・川俣町住民意向調査速報版の公表について

檜葉町及び川俣町の住民を対象とした住民意向調査の結果を取りまとめました。

1 調査概要

■ 檜葉町

調査主体 檜葉町、福島県、復興庁
調査対象 全世帯主（3,686世帯）
実施期間 平成26年1月9日～1月23日
回答者数 2,188世帯（回収率59.4%）

■ 川俣町

調査主体 川俣町、福島県、復興庁
調査対象 居住制限区域及び避難指示解除準備区域（山木屋地区）の全世帯主（551世帯）
実施期間 平成26年1月15日～1月29日
回答者数 322世帯（回収率58.4%）

2 調査結果について

別紙1、2の通り

本件連絡先

（原子力災害復興班）

檜葉町調査担当：真鍋 辻野

電話：03-5545-7369（直通）

川俣町調査担当：石田 倉持

電話：03-5545-7416（直通）

檜葉町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的として実施。
- ・ 檜葉町の調査は昨年度に引き続き 2 回目。

(1) 帰還の意向※1

「檜葉町にすぐに戻る」	8.0%(9.7%)
「条件が整えば、檜葉町に戻る」	32.2%(33.1%)
「今はまだ判断ができない」	34.7%(34.0%)
「檜葉町には戻らない」	24.2%(22.3%)

(2) 帰還する場合に希望する行政の支援※2（上位抜粋）

「医療機関・介護・福祉サービスの再開」	78.2%
「商店の再開」	73.6%
「きめ細かいモニタリングとその継続 （空間線量率、水、食料品等）」	51.7%
「イノシシ・ネズミ等の駆除」	49.4%

(3) 帰還を判断する上で必要な情報※3（上位抜粋）

「道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤 （インフラ）の復旧時期の目途」	81.7%
「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」	60.4%
「原子力発電所の安全性 （事故収束や廃炉の状況）」	57.7%
「中間貯蔵施設に関する情報」	54.0%

※1 （ ）内は、平成 24 年度調査の結果。平成 24 年度は個人を対象とし、平成 25 年度では世帯主を対象としている点に留意

※2 「檜葉町にすぐ戻る」または「条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方に質問（複数回答）

※3 「条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方に質問（複数回答）

川俣町調査結果のポイント

- ・復興公営住宅のニーズ把握を主目的に記名式で実施。
- ・川俣町では昨年度、住民意向調査を町のみで実施しており、復興庁と福島県と川俣町との共同調査は今回が初めて。

(1) 復興公営住宅の入居希望 ※1

「入居を希望する」	24.4%
「現時点で判断できない」	42.0%
「入居を希望しない」	32.8%

(2) 復興公営住宅の入居に当たり希望する居住地 ※2

川俣町内	92.1%
------	-------

(3) 山木屋地区への帰還の意向

「現時点で戻りたいと考えている」	35.4%
「現時点でまだ判断がつかない」	33.9%
「現時点で戻らないと決めている」	23.3%

(4) 帰還を判断する上で必要な情報 ※3 (上位抜粋)

「どの程度の住民が戻るのかの状況」	67.0%
「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」	60.6%
「避難解除となる時期の目安に関する情報」	53.2%

※1 入居希望の数は、居住制限区域の全世帯と避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯のうち、復興公営住宅を希望した者の数

※2 「復興公営住宅の入居に当たり希望する居住地」の割合は、「1世帯目」と「2世帯目」との合計。

※3 「現時点でまだ判断がつかない」と回答した方に質問（複数回答）